

QUARTERLY  
MAGAZINE  
**HAKONE**  
HOSPITAL

2016  
AUGUST

*Autumn*

Vol.

**03**



独立行政法人国立病院機構

**箱根病院**

〒250-0032 小田原市風祭 412  
TEL:0465-22-3196 FAX:0465-23-1167



## いのち輝く、癒しの病院

そこにいと、ほっと心が安らぐ

嬉しい時はともに喜び

辛い時にはともに立ち向かう

真剣に取り組んでいる時には影でサポートし

悩んでいる時にはそっと手を差し伸べる...

患者さんも職員も箱根病院で過ごす全ての人が  
そんなあたたかい思いやりでつながる家族のような病院

箱根病院で過ごすことで自然と心がやすらぎ

その人の良い面が引き出され

ひとりひとりが輝く場でありたい

箱根病院にはそんな理想があります

「いのち輝く、癒しの病院」

理想の病院を目指す箱根病院の旅を

みなさまと共有しながら

その一步一步を楽しみながら

歩みを進めていきたい



QUARTERLY  
MAGAZINE  
**HAKONE**  
HOSPITAL

2016  
AUGUST  
*Autumn*

Vol.  
**03**

### Contents

---

- 1, THE SCENE ..... 02
  - 2, PEOPLE 箱根病院を支える人々 ..... 08
  - 3, & HOSPITALITY..... 10
  - 4, 箱根病院 NEWS..... 11
  - 5, 院長からの言葉 ..... 12
-

# The Scene

日々の生活は一つひとつのシーンの積み重ねです。  
 人のやさしさを感じたり、植物に癒されたり、  
 何かに挑戦してみたり  
 素敵なシーンに溢れている日常こそ、  
 理想の病院の姿だと思っています。  
 箱根病院で日々生まれる  
 「いのち輝く、癒しの病院」らしい  
 シーンを覗いてみました。

The Scene —  N°01  N°02  N°03



The Scene  
**N°01**  
 散歩の会「ぶらこもり」

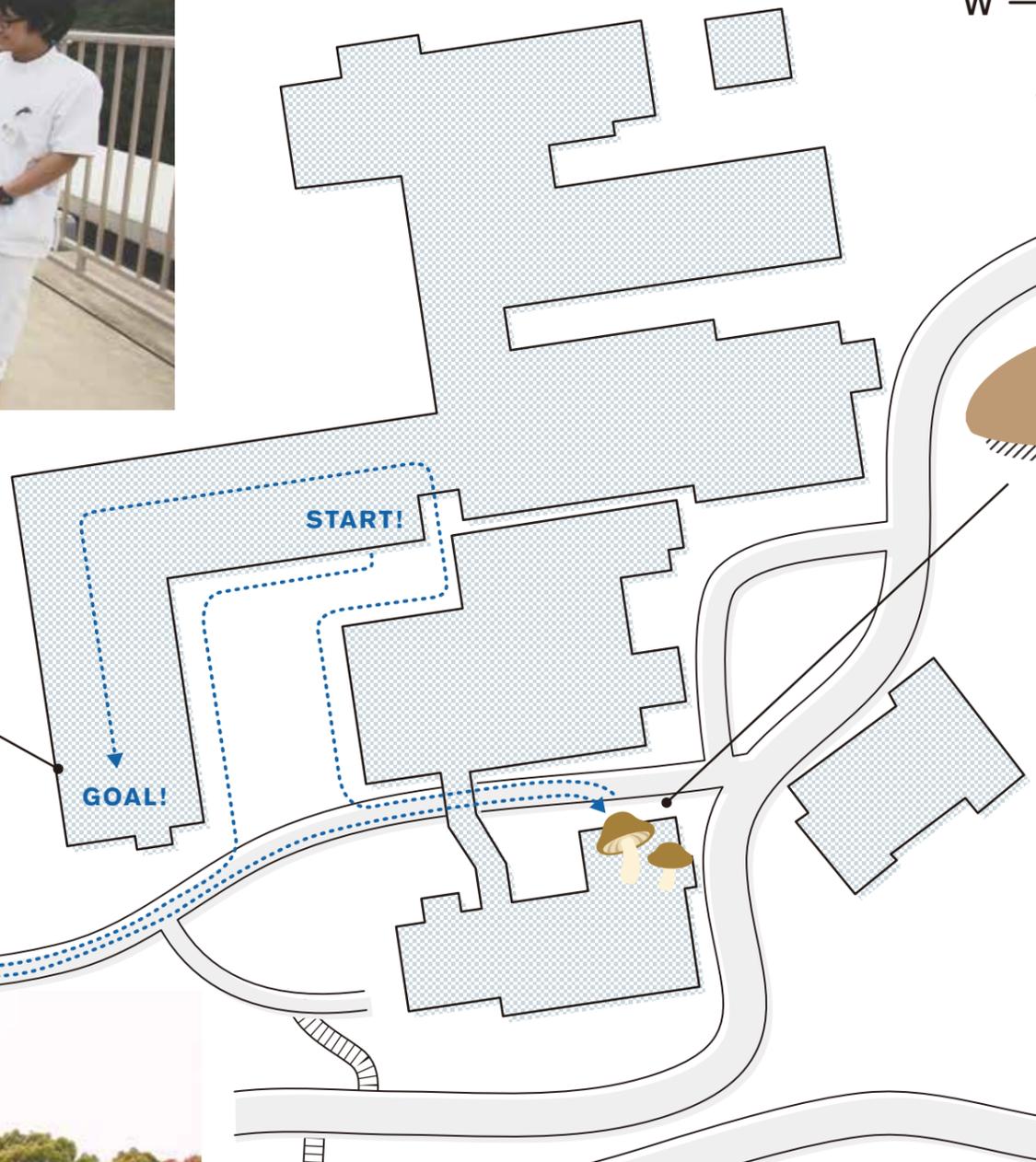
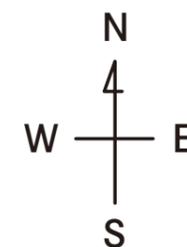
## みんなで箱根病院を巡る、大さんぽ会

箱根病院の患者さんがみんなで“ぶらぶら”と箱根病院の敷地内を散歩しながら季節の移ろいや、景色を楽しむ大さんぽ会「ブラコモリ」。ブラコモリのネーミングはTV番組“ブラタモリ”を参考に、院長の名前をかりて“ブラコモリ”。普段なかなか外に出られない患者さんを中心に、箱根病院を散策しながら、みんなで

散歩を楽しむ企画です。患者さんに少しでも楽しい時間を過ごしてほしい、そんな想いから職員が企画しました。患者さんのご家族も参加され、普段は見られない満開の桜を、家族みんなで楽しんでいらっしかったです。「またぜひやってほしい」「とても楽しい時間を過ごせた」などとても好評でした！



03 屋上で景色を楽しむ



独立行政法人国立病院機構

# 箱根病院

## MAP

02 栽培した椎茸を見学

箱根病院は100年以上の長い歴史があります!



### 箱根病院の魅力、再発見

散歩道は中庭からスタート、満開の桜の中を練り歩きます。みんなで満開の桜を楽しんだら、次は旧本部棟へ。職員や患者さんたちと一生懸命つくったしたいけをみんなに見てもらいました。さらに院長からは、箱根病院の歴史について写真なども交えて説明頂き、100年を超える箱根病院の歴史の重みを改めて実感。最後は新病棟の屋上に行き、小田原・箱根の山々と町並みの美しい景色を堪能し、プラコモリは無事お開きとなりました。みんな楽しんでくれたかな？

01 桜のお花見



どんな些細なことでもかまいません。いつでも気軽に院長室に相談しにきてください。



The Scene  
**N°02**  
院長室のドア

オープンに開かれた院長室のドア

院長室、そう聞くと敷居が高くなかなか近寄り  
がたい印象を受けます。しかし、箱根病院の院  
長室はそうではありません。多くの箱根病院の  
関係者が出入りし、常に誰かが院長と話して  
いる、とても開かれた空間です。

そんな院長室のドアはいつでもオープン。  
箱根病院のスタッフが気軽に相談をしにきて  
ほしい、格式張らずに、家族のように話しやす  
い雰囲気をつくりたい、そんな想いからです。

院長室へは仕事におけるやり取りだけでは  
なく、病院に対する提言や改善点、学会の論  
文などの個人的な相談にいたるまで、様々な  
内容で職員が訪れます。日頃から、沢山の職  
員と話す院長は、職員が相談をしに来た時、  
なにを相談しにきたのかなんとなくわかるこ  
とも少なく無いそうです。



箱根病院のオープンな組織風土を象徴するよ  
うな院長室の開かれたドア。実は開かれてい  
るのは、院長室だけではなく。副院長  
室、事務部長室、看護部長室すべてのドアが  
オープンなのです。誰とでも、いつでもコミュ  
ニケーションをとれる、箱根病院の和やかな  
雰囲気は、こういったオープンな姿勢から生ま  
れてきているのかもしれませんが。

これからも箱根病院のスタッフが連動し、フ  
ラットでオープンな姿勢で、よりよい病院にし  
ていけるように努めていきたいと思えます。

The Scene  
**N°03**  
完全オーダーメイド  
の車いす

箱根病院の院中を歩いていると、様々な車いす  
を目にします。大きいものから、小ぶりなもの、車  
いすに付いている機材や背もたれの高さ・角度  
に至るまで、それぞれ異なります。一つとして同  
じものがなく、ひとつひとつがユニークな車い  
すです。

箱根病院の患者さんは、進行性の難病と共生し  
ながら日常生活されています。患者さんひとりひ  
と、体の動かせる場所やクセ、どういう生活  
を送りたいかが違うため、一人ひとりにあった車  
いすづくりが求められるのです。

実際に車いすづくりに携わる理学療法士  
(PT)の高橋さんと作業療法士(OT)の中村さ  
んにお話を伺いました。

「箱根病院の車いすづくりには、医師や理学療法  
士の他に、看護師、作業療法士、指導員や介助  
員の方、もちろん患者さんやそのご家族も関わり  
ます。患者さんやご家族のご要望をできるだけ汲  
み取りながら、安全性や使いやすさ、生活のしや  
すさを踏まえながら細かく調整していきます。患  
者さんご本人が希望することでも、やはり操作を  
覚えられるかどうかや、危険性や注意が行くかど  
うか、誤操作は起きないかなど、細かく評価し、  
患者さんにご家族に納得いただきながら調整し  
ています。」



車いすづくりで苦勞することは？

「あくまで、PT・OTとしての視点になりますが、  
車いすがイメージと実際のものが異なるというこ  
とも少なくありません。ひとつひとつがオリジナ  
ルなものになってくるので、何度も業者の方と話し  
合って、仮合わせ(確認作業)をしていながら  
突き詰めていくということが求められます。最終  
的には実際に患者さんに乗ってもらい、乗り心地  
や使い勝手を実際に感じてもらって、更に微調  
整をする。そんな細かい調整の連続です。」

完成するまでに、沢山の時間と人の手がかけ  
られている箱根病院の車いす。ひとつひとつ  
が多くの人の想いがこもった作品です。少しで  
も患者さんとそのご家族の日々がよりよいもの  
になることを願って。

箱根病院を支えるスタッフたち。  
どんなことを考え、どんな未来を見据えて仕事に  
取り組んでいるのか、その想いを伺いました。

# PEOPLE

～ 箱根病院を支える人々～

## PEOPLE-005

やまもと ふみか  
看護師 **山本 ふみか**

### PROFILE

レコーディング・スタジオなど音楽関係の仕事を経て、2008年から現職。凛とした力強さとやさしさをあわせ持つ彼女。箱根病院のゆったりとした雰囲気が好きなのだそう。趣味は温泉に行ったり、おいしいものを食べる。最近では2ヶ月に1回、温泉に行っているとのこと。

ひとこと...小田原・箱根の美味しいお店を教えてください！

## 箱根病院のゆったりとした 雰囲気が好き！

看護師として、箱根病院で9年目をむかえた山本さん。新卒から箱根病院で、一步一步経験を重ねてきた彼女が感じる箱根病院の良さ、そして課題とはどんなところなのか？彼女の想いに迫ります。

### 山本さんの仕事について教えてください。

「神経内科でALSやパーキンソンといった患者さんを中心に、日常生活の援助から処置・ケアを行っています。パーキンソンの患者さんですと、ON・OFFで動ける時と動けない時とがあります。ONの時に転倒してしまわないようにケアしたり、ALSでうまく喋れない患者さんとは、うまくコミュニケーションをとって対応したりと24時間体制で看護をしています。」

### 山本さんにとって箱根病院の魅力は？

「雰囲気がとてもいいことです。やさしい雰囲気というかゆっくりな感じ。私は新卒で箱根病院に入ったのですが、就職先を色々見ている中で、やっぱり箱根病院の雰囲気が一番良かったですね。特にスタッフの人がとてもやさしくて穏やかで、見学に来た時もとても丁寧に説明してくれるし、みんな挨拶してくれるので、とても感動したのを覚えています。働いている今でも、ここを選んでほんとによかったと思っています。」

### 今まで箱根病院の仕事で印象に残っていることはありますか？

「とても難しいといたら失礼なのですが、多くの看護師がうまく対応しきれなかった患者さんがいて、その方を担当することになりました。他のスタッフの協力もあって、丁寧に時間をかけてやらせてもらえて、結果トラブルなく看護ができました。私が異動する際に「山本さんはいつも嫌な顔せず来てくれて、色々やってくれた。自分にとって不可欠な存在だからいなくなったら困る」というような手紙をくれたんです。患者さんが手紙を書くのは本当に大変なことで、時間もかかるのに、わざわざ書いてくれて。とても嬉しかったです。その時の経験は私にとって自信につながっていますね。」

### 山本さんの今後の展望について教えてください。

「箱根病院には沢山のいいところがあります。スタッフの心遣いであったり、ゆったりとしたやさしい雰囲気。なかなか忙しいと気が回らなくなってくるけど、そういったものをしっかり活かしながら、なくさないようにしっかりと受け継いでいきたいなと思っています。」

## 丁寧なコミュニケーションを通じて、 みんなが働きやすい環境に

管理栄養士として、そして箱根病院の栄養管理室のリーダーとして、箱根病院の食づくりを担う二木さん。よりよい仕事をするために、彼が日頃から心がけていることは？二木さんの働き方に注目です。

### 二木さんの仕事について教えてください。

「患者さんに安全でおいしく、バランスの良い食事を提供することが大きな仕事です。僕自身はスタッフが動きやすいように、取りまとめたりサポートをする仕事が多いですね。みんなの力が合わさってこそいい仕事ができると考えているので、しっかりとコミュニケーションを重ねながら、一人ひとりがスムーズに仕事がし易いように心がけています。」

### チームがスムーズに仕事ができるように 心がけていることは？

「しっかりとコミュニケーションをとる、ということです。会話や雑談も含めて。みんなと話してみないと本音は聞き出せないし、例えば何か問題があっても、色々な要素がからみ合っています。決めつけずにしっかりとコミュニケーションを取ることで問題の本質が見えてくることも多いです。」

### 箱根病院での仕事のやりがいはどこにありますか？

「私たちの仕事はおいしい食事を通して患者さんに喜んで

## PEOPLE-006

ふたつぎ たかよし  
管理栄養士 **二木 巨悦**

### PROFILE

大学在学中はライフセイバーとして人命救助に携わり、卒業後は営業職を経て栄養士の道へ。スポーツをこよなく愛し、学生時代からバレーをやっている。今でもビーチバレーの大会に出場することも。2児の父として子育ても頑張る、家庭を大切にしているイクメン。ひとこと...みなさんの地元でひそかなブームとなっている食べ物や自慢の名店、教えてください！

もらうこと。大きい病院ですとなかなか患者さんと細かくコミュニケーションをとるとするのは難しいですが、箱根病院の場合はそれができる。患者さんの顔を思い浮かべながら栄養管理ができます。また、ダイレクトに患者さんの反応を得ることができるので、ちょっとした工夫でもほめてもらえたり、モチベーションにも繋がりますね。」

### 二木さんの今後の展望について教えてください。

「栄養士として、患者さんにより質の高い栄養管理をしていくことです。工夫のある食事の提供や適切な栄養アセスメントがその中でも重要になります。また、栄養改善を行うには様々なチームが関わっています。もっと栄養士がチーム医療の中で活躍し発展できるように貢献していきたいです。自分の役割としては、コミュニケーションを大切に、スタッフがより楽しみながら質の高い仕事ができるような環境を作っていけたらと思っています。」

# HAKONE HOSPITAL

News

— 箱根病院ニュース —

## 風祭展を開催

平成28年6月9日(木)～13日(月)までの5日間、小田原市栄町の飛鳥画廊において「風祭展」を開催しました。会場を飛鳥画廊に移してから今年で5回目を迎え、毎年この日を楽しみに来場して下さる人も増えてきました。

「風祭展」は、箱根病院に入院中または外来に通っている神経・筋疾患の患者さんたちが制作した作品の展覧会です。今年も油絵、色鉛筆画、水彩画、絵手紙、CG画、詩、俳句、作業療法で作成した工芸品など、ひとりひとりが工夫を凝らした作品を出品することができました。会場を訪れた人からは、「一生懸命作品と向き合った様子が目に浮かび、本当に感動した。」「様々な作品が展示されていて、毎年楽しみにしている。」といった嬉しいお言葉を頂くことができました。

皆さまから頂いた励ましや応援の声を来年度の作品創作へのパワーにし、来年もまた多くの患者さんの作品が出品できることを楽しみにしています。末筆になりますが、風祭展開催にあたりご協力頂きました皆様へ、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 看護の日

毎年5月の恒例行事になっている『看護の日』イベントを5月25日に開催いたしました。爽やかな5月の風を感じながら開催したいと思い、1階病棟前の中庭にテントを張り会場にしました。が、当日の空は怪しい曇空…。爽やかな風はありませんでしたが、みなさんの気合で何とか雨は逃れることができました。

今年度は、入院患者さんのご家族や外来患者さんにご家族へ向けて、箱根病院の院内と院外へ向けた活動のアピールとして、健康相談、栄養相談、福祉・行政相談、ケアラー・訪問看護案内を行いました。参加者は少なめでしたが、その分じっくりと時間をかけ沢山の話ができたようで、みなさん笑顔でした。一番の盛り上がりは、院内保育園の園児たちによる「ちびっこドクター＆ナースへの変身」と「園児からの歌のプレゼント」でした。笑い声と泣き声(笑)が入り交ざり、賑やかなひとときとなりました。参加されたみなさま、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



一日も早く業務に慣れるよう頑張ります。  
倉島 勝彦

命輝く、癒しの病院を目指しチャレンジします。  
山岸 利恵子

円滑な病院運営に貢献できるよう頑張ります。  
高橋 実

前向き&真摯に精進します。お願いします。  
渡邊 真紀

その人らしい生活が送れる様な看護をしていく。  
境田 有人

明るく元気に頑張ります。  
高木 あゆみ

一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。  
渡邊 愛

当院で働けて光栄です。宜しくお願いします。  
高橋 宏幸

笑顔で一生懸命頑張ります。  
井川 由紀子

何事もポジティブに一生懸命頑張ります。  
川崎 由貴

元気で明るく看護できるよう仲間を増やします。  
大橋 純子

常にお客様の心に笑顔を送るよう頑張ります。  
山崎 いずみ

患者さんの思いに寄り添い安全第一で頑張る。  
石坂 姫子

笑顔大切に精一杯頑張ります。お願いします。  
川田 一夢

元気に優しく頑張ります。  
佐藤 朱美

優しい力持ちになれるように頑張ります。  
梅川 彩菜

おでん好きです！春夏秋冬おでん食べます。  
井手口 孝輔

患者さんの笑顔の為に一生懸命頑張ります。  
柳澤 芝穂

少しでも早く1人立ちできるように頑張ります。  
中西 亜矢子

不器用でも頑張るのでよろしくお願いします。  
星 茜

患者さんに寄り添える看護師を目指します。  
宮原 舞

1日でも早く成長できるように頑張ります。  
日向 美智

焦らずに、1歩1歩確実に進んで行きたいです。  
田中 恵美

仕事を覚えられるように頑張ります。  
細川 晴美

気負うことなく、患者さんとその家族の療養生活に貢献できればと思います。  
澤田 大介

褒めて伸びるタイプなのでぜひお願いします。  
大塚 創

患者さんに寄り添える栄養士を目指します。  
宮坂 秋帆

# 箱根病院の新しい風

HAKONE HOSPITAL  
NEW BLEEZE

箱根病院を駆け抜ける爽やかな風。キラキラと輝くその風は、箱根病院を包み込み、病院を一層輝かせてくれています。箱根病院の新しい仲間たちからのメッセージです。

## 風立ちぬ

箱根病院に舞い込んだ新しい風は、季節を巡りながら着実に影響を与えています。

自分の経験値を生かした提案や職場での動きを始めた職員もいます。病棟に配属された新卒看護師たちは、それぞれの個性を出しながら、それぞれのペースで職場に馴染んでいます。この数年、箱根病院には若い職員が増えました。彼らは、目を見張らせるような優しさと軽やかなフットワークで、与えられた役割を果たし、自らの思索を加えて命を輝かせています。そして、それを見守り育てる先輩職員の努力と忍耐は、病院を支える気概であり、敬意を抱かざるを得ません。

暑い夏を迎えて、「箱根病院ホームカミングデー」に心踊り心地よい疲労感を感じたのち、夜風が涼しくなる頃には、すべてが一つに融合して着実に前に進む箱根病院が出来上がるはず。今年も実りの秋を迎えると思います。

沖縄での第70回国立病院総合医学会に、当院からの演題登録がこれまでになく多く提出されました。開催地の魅力もあるかもしれませんが、病院内での臨床研究の活発化を示していると思っています。職員は、沢山の論文を書く覚悟が必要です。

「風立ちぬ、今は秋」で始まる歌詞の最後は、「夏から秋への不思議な旅です」と纏められています。夏の間を経験する様々な出来事で人は変身の秋を迎えるのでしょう。

箱根病院 神経筋・難病医療センター 院長

小森 哲夫



### 【行事】

8月17日(水) ホームカミングデー ～緑日&花火大会～

箱根病院の夏の風物詩、緑日と花火大会が開催されます。箱根病院のOB/OGの他、沢山の方々が集まります。一般の方も参加できますので、是非お越しください。



### 【交通案内】

#### 自動車利用の場合

1. 小田原厚木道路、または西湘バイパス等を利用の場合  
箱根口インターチェンジで降りて最初の信号「風祭」を右折し、次の信号「風祭駅入り口」を左折
2. 国道1号線を利用の場合  
「風祭駅入り口」の信号を、小田原方面からは右折、箱根湯本方面からは左折

#### 鉄道利用の場合

JR東海道線、東海道新幹線または小田急線小田原駅乗り換え、箱根登山線風祭駅下車、徒歩2分。(駅より病院正門まで約40m)

### 【外来診療】

外来診療受付時間: 平日8:30~11:30  
※外来診療は原則として予約制です。  
予約受付電話番号: 0465-22-8731  
予約受付時間: 平日14:00~17:00

### 【採用情報】 <http://hakonehosp.com/>

私たちは共に「いのち輝く、癒やしの病院」づくりを行っていく仲間を求めています。採用に関する詳しい情報はホームページの職員募集を御覧ください。

### 編集後記

「QUARTERLY MAGAZINE HAKONE HOSPITAL 秋号」を発刊しました。今回の表紙は秋空をバックに箱根病院の旧本部長と紅葉が美しい写真。自然豊かな箱根病院の周りを赤・黄・緑と美しく彩る季節が今年もまたやってきます。自然の輝きにまけず、箱根病院もひとりひとりがそれぞれの色で個性豊かに輝ける病院になれるよう邁進していきたいと思ひます。